

世界各國が人

スイスの医療機器メーカーの生産ラインで製造される人工呼吸器（18日撮影、ロイター）

トランプ
ゼネラル
呼吸器の
政府が家

英國 呼吸器を

ドイツ フォルク
使った人。

日本 西村経
調整して

人工呼吸器 自分の力で呼吸ができなくなつた場合に機械の力で酸素を患者の肺に送り込む装置。マスクタイプやのどに穴を開けて管を挿入するタイプなどがある。人工呼吸器で対応できなくなった場合は、体外に出した血液に酸素を加え、再び体内に戻す「体外式膜型人工肺」（ECMO＝エクモ）を使用する。

ドローン操縦に免許

学科と実技 政府、22年にも

政府は、小型無人機「ドローン」の操縦ライセンス制度を創設する方針を固めた。

操縦者から目の届かない市街地の上空を飛行させるなど、危険性が高い利用をする場合はライセンスの取得を必須とする。操縦者に高度な知識と技能を求め、安全性を確保する狙いがある。2022年の運用開始を目指している。

操縦ライセンス制度は、ドローンの活用に関する官民協議会が31日によると、来年

検討中のドローンのライセンス制度



試験内容	学科と実技
取得可能年齢	18歳以上
有効期間	一定の期間を設ける
試験実施主体	国指定の民間団体または国
法令順守	法令に違反した場合は取り消し・停止

の通常国会に航空法改正案を提出する予定だ。

ライセンスを発行する際は、学科と実技の試験で審査し、ドローンを安全に飛行させる知識と能力の有無を判定する。取得可能な年齢は18歳以上とし、有効期間も設ける方向だ。試験は、国が指定する民間の操縦者養成団体に加え、国が直接実施することも検討する。

ライセンスが必要な飛行は、操縦者が補助者をつけず、目視外飛行を有人地も向けの本がある。学研ブ



国語力が危ない

「語彙力」の今 下

豊かな言葉に触れ、言葉への関心を育んでこそ、子どもの語彙は増える。その入り口となるのは、小さな

話「因幡の白うさぎ」やアンデルセンの童話、金子みすゞの詩、小林一茶の俳句のほか、幅広く作品を収録。

西田恭子さん（45）は、「最近の子は長い話を読むのが少し苦手。読み切る達成感

時に本と親しんだ体験だ。近の子は長い話を読むのが

工夫が求められる。短い名

言葉を発信、受信する時代。

言葉の力をつけるにはより工夫が求められる。短い名

言葉の面白さを味わつて

おも良いと思う」と語る。

▲関連記事28面▽

名作に豊かな日本語

ラスの「よみとく10分」シリーズだ。「伝記」や「名作」など、学年別に数々の短い物語を1冊に収める。そのうち小学1年生向けの「物語」編は、日本の神話「因幡の白うさぎ」やアンデルセンの童話、金子みすゞの詩、小林一茶の俳句のほか、幅広く作品を収録。

西田恭子さん（45）は、「最近の子は長い話を読むのが

工夫が求められる。短い名

言葉を発信、受信する時代。

教育出版社の知見を生かして長さや内容を考え、入

れる作品を選ぶ。2005

年から刊行し、昨夏から内

容を見直した新版を出す。

現在36冊あり、シリーズ累計は580万部に達した。教育評論家の尾木直樹さんは「メールやLINEなどが広まり、絵文字や短い言葉を発信、受信する時代。

西田恭子さん（45）は、「最近の子は長い話を読むのが工夫が求められる。短い名

言葉を発信、受信する時代。

言葉の力をつけるにはより工夫が求められる。短い名

言葉の面白さを味わつて

おも良いと思う」と語る。

▲関連記事28面▽

する法令違反をした人にはライセンスの取り消しや停止などの行政処分を科す。ライセンス制度を創設する背景には、ドローンの事故が増えているという事情がある。政府に報告があつた墜落などの事故は18度、79件で16年度の55件から増えた。航空法違反で摘発される例も増えている。

低気圧 日、広い範囲で積雪の桜満開 気象 東北地方が積雪は14㌢、東京都では12㌢。JR線はさらに増えた。職員の家検査を進めてはさらに増えた。

者はいすれかた。職員の家検査を進めてはさらに増えた。

者はいすれかた。職員の家検査を進めてはさらに増えた。

